

4

防災減災・生活環境

現状

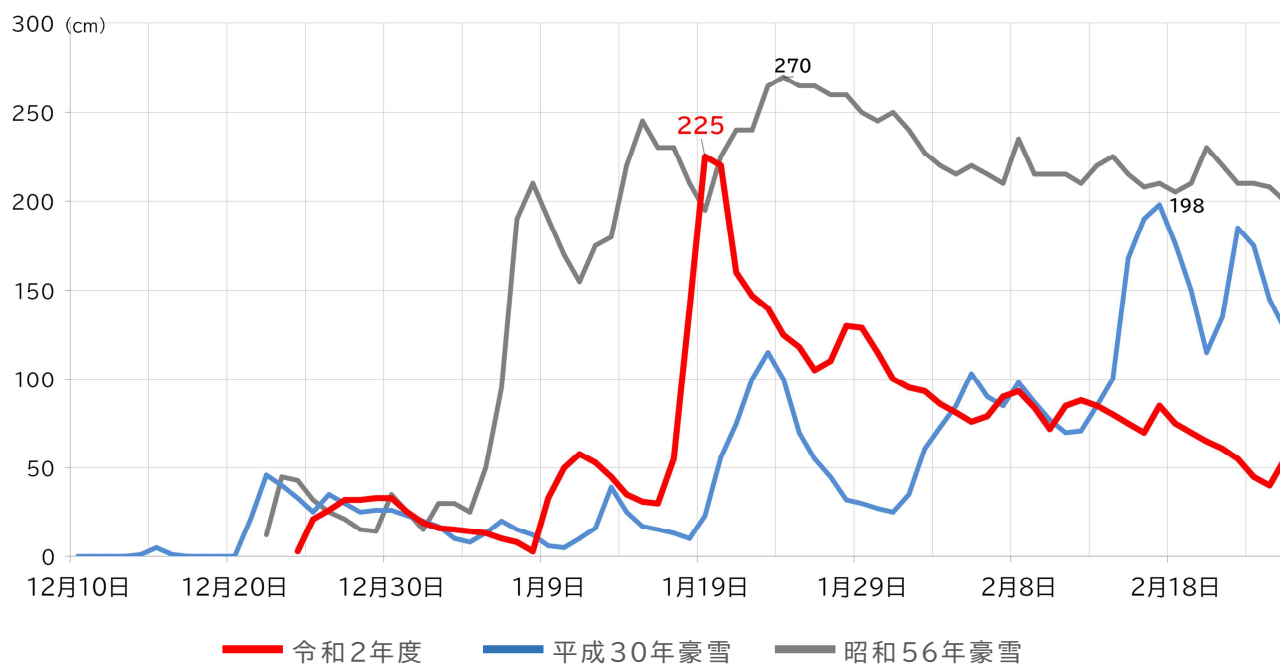
気候変動などの影響により、全国で豪雨による河川の氾濫や土砂災害などが多発、大規模化しています。その中でも、過去に勝山市を襲った豪雪は大きな爪痕を残すなど「雪」は市民にとって大きな課題となっています。

こういった中、市民の防災意識の向上と地域における避難体制の確立のため、勝山市総合防災訓練および各地区住民避難訓練を毎年実施するほか、大地震による人的および経済的被害の軽減を図るために市内の住宅・建築物の耐震化を進めています。

また雪に対しては市道除雪、各世帯への支援、地域コミュニティへの支援などの公助に取り組みながら、自助および共助との連携を進めています。しかし人口減少・少子高齢化により自助および共助の衰退が進んでいます。

その他に、維持管理されず老朽化が進んでいる空き家などの建築物が増加し、周辺の生活環境に様々な悪影響を及ぼしています。

積雪深(R2、H30 豪雪、S56 豪雪との比較)



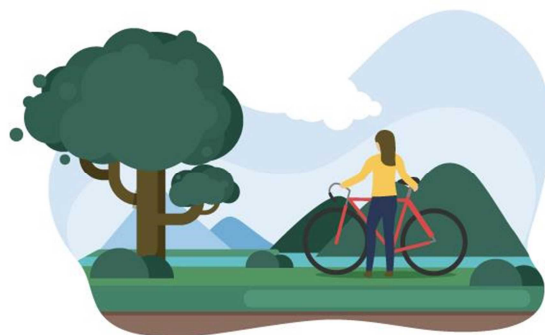
出典：勝山消防署による観測データ(観測地点：勝山市消防署)

第3章 政策目標 【 4つの「守る」ー防災減災・生活環境 】

安全で安心して暮らせるよう消防や救急医療、交通安全、防犯、消費者保護などに取り組んでいます。また快適な生活環境を維持するため、外来種駆除や希少動植物保全などに取り組んでいます。一方で、広報やチラシ等を活用し、ごみの減量に向けた啓発を行っていますが、ごみの減量、リサイクル率は伸び悩んでいます。

上水道事業では、全ての簡易水道の統合により、施設管理を一元化し、給水の安全性・安定性の確保に取り組んでいます。公共下水道事業や農業集落排水事業では、施設・管渠を整備し、生活環境の向上や自然環境の保全に取り組んでいます。

その他、道路や公園、河川などの都市基盤については、地区要望等に基づき、道路改良・修繕、河川改修に取り組んでいます。



第3章 政策目標 【 4つの「守る」－防災減災・生活環境 】

課題

➤ 少子高齢化や核家族化といった社会構造の変化により、これまで家族単位で行ってきた屋根雪おろしや敷地内の除雪が困難になってきています。

- 人口減少、高齢化に伴いこれまで共助で担ってきた狭い道路や歩道の除雪、地域コミュニティが担ってきた集落センターなどの共有施設の除雪継続が難しくなっており、持続可能な共助の仕組みを検討する必要があります。
- 地域での高齢化が進み、自助による災害対策が困難になっている中、地域住民による共助を強化する必要があります。
- 人口減少による共助の担い手不足、高齢化による災害時要援護者の増加、近年の災害の大規模化、広域化、複合化により、共助と公助の連携を強化する必要があります。
- 近年頻繁に発生する雪害に対しては、市民や行政、関係機関などがより一層連携し、除排雪体制を整える必要があります。
- 空き家等を適正に管理していくために、移住定住者のための住宅、店舗としての活用など幅広い対策や撤去のための法的措置を実施していく必要があります。



第3章 政策目標 【 4つの「守る」ー防災減災・生活環境 】



- 火災は、火災予防知識の不足と防火に対する意識の低さから発生することが多いため、防火意識の向上に取り組む必要があります。
- 消防、救急医療体制の充実、関係機関と連携した高齢者の交通安全対策、総合的な防犯体制、消費者保護対策の推進など、市民の日常生活における安全安心を確保する必要があります。
- 高齢者をはじめとした交通弱者※に利用しやすく安全で安心な移動手段を確保する必要があります。
- 交通事故における高齢者の割合が高くなっていることから、高齢者の歩行中や自動車の利用による事故防止対策に取り組む必要があります。
- 温暖化など地球規模での環境問題に対し、身近なところから取り組む意識を向上する必要があります。
- 上下水道事業では、施設・管渠の整備がほぼ終了し、事業創設以来整備してきた施設・管渠が更新時期を迎えます。今後は、適切な維持管理を行いながら、効率的な改築や更新を実施していく必要があります。
- 高度経済成長期以降に集中的に整備された道路や公園、河川などが今後老朽化する中、既存施設の安全性を確保するため、各施設の重要度を考慮した計画的修繕に取り組む必要があります。



防災減災・生活環境分野における取り組みの方向性

政策目標 1

自助・共助・公助の連携が
とれた地域防災力の高いまち



- ① 雪などの災害に対する効果的な自助・共助・公助の仕組みを再構築し、行政と地域コミュニティとの連携強化により、災害情報の伝達強化、避難所の運営強化など地域防災力の向上に取り組めます。
- ② 除雪機械の配備や除雪路線の見直し等により効果的・効率的な除雪体制を充実するとともに、市民や行政、関係機関などが連携した除排雪体制を構築します。
- ③ 住宅の耐震診断、耐震改修を支援し、住宅の耐震化に取り組むとともに、雪に強い克雪住宅の普及に取り組めます。
- ④ 適切な管理が行われていない空き家の所有者等に解体等を促し、管理不全な空き家等の解消に取り組むとともに、利用可能な空き家等を地域の資源と捉え、活用を促進します。
- ⑤ 市民の防火意識の向上等による火災予防の強化に努め、火災件数ゼロを目指します。
- ⑥ 消防施設等を計画的に整備し、広域応援受援体制を確立し災害に備えます。また少子高齢化に対応し消防団員の減少傾向を食い止め、各地区自衛消防活動など、消防力を維持します。
- ⑦ 救急医療に対する市民の理解を深め、救命率向上に向けた体制の維持、確保に取り組めます。





政策目標2

安全で快適な生活環境が
維持された住みやすいまち



- ① 廃棄物の不法投棄や野外焼却のほか、土壌汚染、騒音、振動、悪臭など、様々な生活環境汚染を防止するため、監視や指導、啓発に取り組みます。
- ② 北陸新幹線福井・敦賀開業および中部縦貫自動車道県内全線開通など高速交通体系の整備による交流人口※の増加が見込まれる中、犯罪抑止機能を備えた生活環境を整えます。
- ③ 鉄道、路線バスを効率的に接続し、市内外の人が移動しやすい地域公共交通体系を構築するとともに、高齢者の運転免許自主返納を推進し交通事故の抑制に取り組みます。
- ④ 中部縦貫自動車道県内全線開通などによる交通量の増加が見込まれる中、快適で安全な交通社会を実現するため、街頭での交通指導・啓発・教育および広報宣伝などの活動に取り組みます。
- ⑤ 安全で豊かな消費生活を営むことができるよう、消費生活に関する正確な知識や的確な判断力を身につける消費者教育に取り組みます。

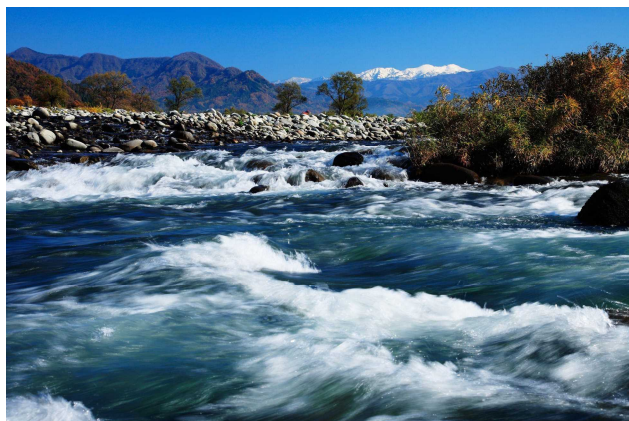


政策目標3

地球にやさしく環境意識が
高いまち



- ① 令和32年(2050)までに二酸化炭素排出の実質ゼロ(ゼロカーボンシティ※)を目指すため、省エネルギー対策や再生可能エネルギー活用策の検討・研究に取り組むとともに、二酸化炭素吸収源としての機能を持つ森林の保全など、脱炭素社会の実現に取り組みます。
- ② 市内事業者と連携した資源ごみの回収や市民の資源ごみ集団回収を支援し、ごみのリサイクルを促進するとともに、市民一人ひとりのごみ分別および減量に対する意識の啓発に取り組みます。
- ③ 美しい自然景観や眺望景観、歴史的景観を保全するとともに、これらと調和のとれた景観の形成に取り組みます。

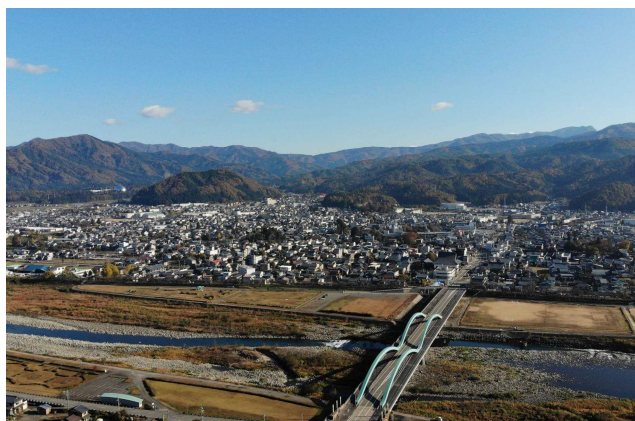


政策目標4

安心して快適に暮らせる都市基盤 が維持されたまち



- ① 安全な水を安定供給するため、水源や水質の適切な管理を継続するとともに、経営状況を確認しながら、水の供給施設・管路の効率的な改築や更新に取り組みます。
- ② 将来にわたり安全安心で快適な生活空間を確保しつづけるため、経営状況を確認しながら、水処理施設の計画的な改築・更新に取り組みます。
- ③ 道路や公園など今後老朽化が進む社会資本は、定期的な点検を踏まえて修繕計画を都度更新するとともに、計画に基づいた改築・更新など、適切な維持管理に取り組みます。
- ④ 道路や公園、河川、下水道等の都市基盤の整備が進んでおり、引き続き、整備の緊急性やその効果、地域の実情やニーズなどを勘案しながら、計画的な都市基盤の整備を進めます。





関連する個別計画	勝山市地方創生総合戦略
	勝山市男女共同参画基本計画
	勝山市都市計画マスタープラン
	勝山市立地適正化計画
	勝山市景観計画
	勝山市地域防災計画
	勝山市総合克雪・利雪・親雪計画
	勝山市建築物耐震改修促進計画
	勝山市公営住宅等長寿命化計画
	勝山市空家等対策計画
	勝山市地域公共交通計画(仮称)
	勝山市消費者教育推進計画
	勝山市環境基本計画
	勝山市水道事業経営戦略
	勝山市公共下水道事業経営戦略
	勝山市農業集落排水事業経営戦略
	勝山市公共施設等総合管理計画